

一羊会だより

発行
 社会福祉法人一羊会
 事務局 〒663-8241
 西宮市津門大塚町1-47
 電話 (0798) 31-1760
 FAX (0798) 31-1763



一羊会のホームページ内にある採用サイトがリニューアルされました。デザインも一新され、新たな職員4名のインタビュー記事と、職員2名のインタビュー動画が公開されています。素敵なサイトに仕上げてくださいましたのは、株式会社ビー・プランニングの皆さんです。一羊会で働く魅力がぎゅっと詰まったサイトとなっていますので是非ご覧ください。

特集

- 採用サイトリニューアルのお知らせ 3
- あとりえずかけ新聞 4
- すずかけ作業所のスイカ割りとミシン班の新商品 ... 10
- 地域共生ページ・Boleh! 12



一羊会ホームページ
へはこちらから

グループホームは施設ではなく 住宅として位置づけるべき

理事長 三浦 昇

いつも一羊会の事業を見守り、応援いただきありがとうございます。

コロナ感染第7波のニュースが流れ、これまでの最高の感染拡大が報じられています。

終息が見通せない現状が続く中、新型コロナとどう付き合っていくのか、各自の問題意識に帰する中で行動を自覚的に行うことが基本で、それに行政施策と医療的対応に期待するしかないといった状況なのではないでしょうか。

皆さん慣れに流されずに気を付けて日々過ごしていきましょう。

さて、一羊会でも長年取り組んできた生活への取り組み、特にグループホームに関して2022年1月20日付の大阪地裁での判決記事をご覧になった方々も多くいらっしゃると思います。

平成元年（1989年）に創設された国のグループホームの制度により、施設から地域で暮らす方向が打ち出され全国的に取り組みが進められ、現在は14万人ほどがグループホームを利用しているとのこと。そのような中、大阪市内の分譲マンションにおいて2018年から始まった訴訟、これは2003年頃から重度の知的障害の人たちがファミリーライクに長年同マンションで住民の皆さんとの理解のもと取り組んできたグループホームが、度重なる消防法の改正による法規制により管理組合との管理規約に関する調停決裂、提訴に至り、1月20日に「退去せよ」との大阪地裁の判決が出て、当事者団体はじめ育成会等においてもこの判決に異論を唱え大阪高裁に控訴している現状が続いています。

もともと地域で生活するための家としてスタートしたグループホームが、2006年の長崎における

認知症高齢者グループホーム火災事故を契機として消防法規制が厳しくなり住宅ではなく施設として位置づけられるようになってしまったことから今回のようなことが派生してきています。

グループホーム学会の情報誌のテーマに「グループホームは住宅ではないのか？」というタイトルが上がって今回の裁判について言及されています。

分譲マンションの管理規約で現行のグループホームが認められない事が一般化すると、地域で暮らしていくための社会資源への制約が更に厳しくなっていくことが予測され、特にしょうがいの重い人たちの地域での暮らしは益々進めにくい状況になってしまいます。

西宮市においても、しょうがいの重い人たちのグループホームは消防法の規制がかかり、運営はスムーズに進んでいません。

場面の確保も難しくなってくると施設から地域で暮らすという国の指針は施設づくりに逆戻りしかねません。たとえしょうがいも重くても地域で当たり前で暮らせる地域づくり、これが基本、グループホームは規模（2名～20名）の幅で施設化傾向のところもありますが、あくまで住居としての位置づけを特例的に国レベルでしっかりと位置付けて関係法令との整合を図ってほしいと思います。

また、根本的な地域生活支援関係事業の安定的運営が図れるよう制度改革が必要な時期がきていると思いますのでこれらについても市町村、都道府県として更に国に対して強く要望を挙げていただきたいと思うこの頃です。

採用サイトリニューアルのお知らせ



一羊会ホームページ内にある採用サイトがリニューアルされました。
デザインが一新され、職員インタビューが新たな4名に変わりました。
サイト上から直接エントリーフォームで申し込みが出来る仕様になるなど、
より応募者の皆さんが使いやすく、必要とされる情報が満載のサイトとなっています。

また、掲載にご承諾頂いた利用者の方々の表情が印象的な写真も使用させて頂き、より一羊会で働く
雰囲気が伝わる様なサイトとなりました。写真だけではなく、職員2名のインタビュー動画も観られる
ようになっていて、ご覧頂く方々にこの仕事を身近に感じて頂けるような作りとなっています。

生まれ変わった一羊会採用サイトを是非一度ご覧ください。



すずかけ労働センターのビルメンテナランスの現場でのひとコマ。職員だけでなく、利用者の皆さんも意欲的に撮影に協力してくれました。



一羊会の
新採用サイトへは
こちらから



コロナ禍となってから初めての一羊園での撮影。利用者の皆さんの元気そうな様子を写すことが出来ました。

あとりえ すずかけ 新聞

第25便 2022.8
撮影／編集：神田 浩平

3年ぶりに「あとりえすずかけ夏の雑貨展」が開催されました！

暑い4日間でしたが、連日多くの方が足を運んでくださり、作家達とスタッフがコツコツ作り上げた商品の数々を、皆さん楽しんでくださいました。



会場では雑貨展のフライヤーの絵を描いてくれた仁田葉月さんのドキュメンタリー映像を放映しました。独特な間合いで絵や言葉が生み出される様子や、所属する武庫川すずかけ作業所での作業の様子など、美学あふれる仁田さんの創作活動の裏側を皆さん興味深く鑑賞されていました。



JRさくら夙川駅前にある「BROCANTE COFFEE」さんと一緒に作らせて頂いたドリップバッグのセットも大好評でした。メンバーの北里早樹子さん、丸尾和史さん、伊東鉄也さんの絵がそれぞれデザインされた3種のドリップバッグが、角谷祥子さんが描いたコーヒー豆の絵が印刷されたパッケージに包まれています。この季節に合う、爽やかな風味のコーヒーを3種セレクトしました。



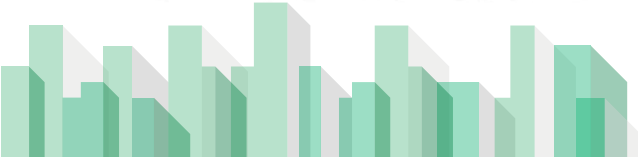
初日にはメンバーの小山充基さんが会場でライブペインティングを行いました。小山さんに会いに駆けつけてくれたお客さんや職員に対して、少し照れくさそうにしながらも、嬉しそうな小山さんでした。



小山さんが描いた絵はこちら。期間中、雑貨展会場に展示されました。

2021年度

一羊会事業報告



1. 組織管理

課題としていた要職の強化、複数体制化につきましては、まず理事長の補佐的役職として外部からの経験者招聘により副理事長を置くことができました。また総務統括についても、2021年度中に候補者を人選し徐々に引継ぎながら、2022年度より正式に総務課長として配置しています。

もう一つの課題である役職者育成についても、2022年度に向け2名が課長昇格し、部長兼務も一部解消できました。主任にも4名が昇格し次代の管理職候補として育成しています。また事業運営意識をより高めていくため、主任研修を2回、主任以上の役職者向けの人材育成研修を1回実施しました。

監事監査につきましては、コロナ禍で実施が難しい中ですが、書面を中心に実施頂き、ご意見頂いています。

2. 財務管理

すずかけ作業所移転建替については、大きな追加費用も無くほぼ予定通りに支払い完了しました。今後は安定した運営ができるよう適切な収支バランスを考えることを計画に掲げていますが、利用者状態の変化により人手（人件費）が必要となっていることや、採算を取ることが難しい事業の収支が更に悪化しており、法人全体の収支改善に至っていません。事業の整理や縮小、人員配置などの見直しについても検討が必要ですが、ニーズとの兼ね合いにより進められていません。本部からの各事業所巡回や公認会計士の会計指導についてもコロナ禍での対応等が優先となり、十分な実施や対応ができませんでした。

利用者からのお小遣い金預かりについて、1件不正な使用がありました。要因について強く反省するとともに、現行の管理体制の確認・見直しを進め、再発防止に向けて取り組んでいきます。

3. 人材マネジメント

①人材確保

新卒採用については、説明会はすべてオンライン実施して、選考希望者に対して面接・体験実習を行ないました。見学会はコロナ感染症の影響で実施できませんでしたが、採用試験の実習を見学代わりとして実施しました。春から秋まで選考期間は続き、結果として12名の新卒を

採用することができました。

中途採用については、通常ハローワークやジョブメドレー（人材紹介業者）の他に、2021年度の後半は「タウンワーク」を多く利用し、効果的な中途採用ができました。

②人材育成と定着

一羊会研修システムに基づいての研修がほぼ計画通りに実施されました。通常の新人研修、3年目のアセスメント研修、個別支援計画の研修などの他に、外部講師によるオンライン研修としては、8月の権利擁護の研修、3月の意思決定支援の研修が実施されました。また、主任研修は3回行われ、ディスカッションや外部講師の講義など幅広いメニューで「風通しの良い職場、人材育成」について考える研修が実施されました。

労働環境については、オンラインでの医療相談システムを導入しました。今後さらに活用していきたいと思えます。

4. 事業展開

新すずかけ作業所は無事に2021年4月に竣工し、法人内他事業所からの利用者の受け入れも予定通り進みました。高齢化のニーズに対応できる日中活動のプログラムの提供を行いました。

グループホームについては、高齢化による身体機能の低下などにより現ホームでの生活が難しくなった2名の利用者の転居を実施しました。今後も利用者の生活ニーズに応じてホームの転居が必要になることが想定され、そこに元浜ホームも含めて進めていくことを検討中ですが、元浜ホームの開設は2021年度も実施できませんでした。

北部の土地活用については、資金・人員共にめどがつかない状況で引き続き検討を続けています。

5. 利用者支援サービス

①就労支援

行政への要望に関しては、8月6日に市長との懇談の機会をいただきました。優先発注業務については、重度化、高齢化が予測を上回る状況で進んでおり、内職作業等を含め、利用者のニーズに合った作業確保の要望を引き続き行っていきます。

自主製品については、売り上げ増に向けて広報部会で検討を行い、菓子のオンラインショップを2022年度春の開設予定です。

就労継続支援B型の目標工賃（約3万円/月）達成に向けては、毎年請け負っていた県入札作業1件が落札できず、また、業者からの清掃作業の1ヶ所終了と合わせ、前年度より約5パーセントにあたる約330万円減となり、全事業所は達成できませんでした。活動内容や工賃分配方法の見直しを行うことにより、目標工賃（約3万円/月）が実現できていない事業所が達成できるよう取り組

んでいかなければなりません。

上甲子園すずかけ作業所の利用者確保については、就労支援センターや相談事業所等に案内を行い、10月より1名の利用開始と3名の見学・体験希望がありました。

②日中活動支援

各事業所で混在している利用者のニーズ整理として、新すずかけ作業所が4月に竣工したことにより加齢による利用者の日中活動場面の整理と事業所の特色分けをより意識する事が出来ました。個々のニーズを把握し、看護師含めた専門職との連携にも意識して取り組みました。

③支援専門性の向上

法人全体の支援力向上の一翼として、研修部会の立ち上げを行いました。研修部会は現場支援員も参加し企画段階から関わってもらい、3月に意思決定支援の研修を企画しました。自閉症支援については、引き続き外部からスーパーバイザーによる事業所コンサルテーションをオンライン形式で行いました。

サービス向上部会では、高齢支援についての事例発表会の準備を行いました。コロナの影響により開催は2022年度に持ち越しとなりました。また、「利用者支援の自己評価」を行い、各事業所の現状を把握し、より良いサービス提供に繋げました。

④権利擁護・虐待防止

2020年12月に発生した虐待事案について、当時の対応が現行の虐待防止マニュアルや対応フローチャートと比較したときの過不足を管理者会議において確認し、マニュアルとフローチャートの改定につなげています。また、権利擁護に関する研修の実施に向けて、サービス向上部会、リスクマネジメント部会、研修部会と研修構成を検討したうえで、8月に法人職員全員を対象に権利擁護に関する基礎研修を実施しました。また、部会で取りまとめた事例集を基に2月にオープン部会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により参加者の確保や開催準備ができず、実施に至りませんでした。

アンガーマネジメントについては、「こころサポート西宮」による自己覚知と他者理解の研修を権利擁護部会員がモニターとして受講しました。2022年度以降に法人職員対象に実施できるよう検討します。

行動規範評価を6月と12月の2回実施し、サービス評価を10月に実施し、権利擁護部会で各事業所の取り組みや課題を共有し、取り組みの改善と意識向上につなげました。

虐待防止委員会の設置については、管理者会議で委員会の役割、機能、構成員を検討しました。法人事業所の中には小規模事業所もあることから、委員会は事業所単位ではなく法人単位で設置することとしました。委員は副理事長を委員長とし、利用者家族の代表（育成会執行部）、第三者委員から1名代表として、本部職員、権利

擁護部会長、サービス管理責任者代表を委員とした構成としています。また各事業所の管理者を虐待防止責任者とし、有事の際の対応を行います。

⑤危機管理

事故・ヒヤリハット報告書を有効的に機能させるため、書式を見直して再発防止策に対してのその後の後追いをできる形に修正し、10月から新書式を活用しています。各事業所で2021年度起こった事故についての要因分析を毎回のリスクマネジメント部会で一事業所ずつ行い、部会員で共有しました。新型コロナウイルス感染症についてこれまで作成してきたマニュアルを活用しやすくなるためリスト化して整理しました。今後も新たな情報が入れば更新していくこととなります。

行方不明時対応マニュアルについて、警察に届ける際に必要事項を適切に伝えられるようにフェイスシート記入用のフォームを修正しました。

避難訓練・応急救護研修・消防自主点検の実施状況の確認を毎月のリスクマネジメント部会で行いました。また、年に一度安全運転管理者・防火管理者分科会を開催し、車両事故や消防に関する課題について検討しました。そこではドライブレコーダーチェックの課題が出た為、活用の検討を2022年度に実施します。

⑥アート活動の推進

「すずかけ絵画クラブ」は、毎月の活動（コロナ感染症の影響で一部実施できない月もありました）の他に、2021年6月30日～7月6日の期間に、兵庫県立美術館でメンバー2名の大規模な展覧会を実施しました。期間中の来場者は859名で、多くの方にこの2名の作品の魅力を伝えることができました。

「あたりえすずかけ」では、いくつかの雑貨展がコロナ感染症のため中止になりましたが、開催された雑貨展などでは、作家としての利用者とその創作物の魅力を内外に発信することができました。

6. 地域連携・地域貢献

①障害児等療育支援事業

支援ニーズがある人達がより暮らしやすい地域にするために、地域ニーズの把握に努め、必要な研修を企画しました。

- 1) 在宅支援訪問療育指導事業 ()内は前年度実績
(西宮44件(41) 尼崎12件(8) 2市と中核市を除く兵庫県下6件(2))
- 2) 在宅外来療育等指導事業
(西宮19件(15) 尼崎0件(0) 2市と中核市を除く兵庫県下※事業廃止のため0件)
- 3) 施設一般指導事業
(西宮127件(62) 尼崎23件(22) 2市と中核市を除く兵庫県下20件(45))

<研修会>

(他法人の支援者、保護者対象に公益的な企画)

9月27日	ABA
10月13日	権利擁護・虐待防止
10月15日	権利擁護・虐待防止
10月30日	発達特性の理解と支援～しなやかに生きるコツ～
11月10日	ASDの理解と支援
11月11日	自尊感情の醸成とそれを基盤にした自己理解の支援
11月12日	ASDの理解と支援
11月17日	ダウン症の理解と支援
11月18日	ダウン症の理解と支援
11月24日	ABA
11月29日	ABA
12月8日	ASD事例報告会
12月15日	ASD事例報告会
12月18日	愛着障害の理解と支援
1月19日	ASD事例報告会
2月10日	自尊感情の醸成とそれを基盤にした自己理解の支援
3月5日	意思決定支援

(県下の保護者対象)

ペアレンツクラブ(阪神福祉事業団ななくさ学園と共同開催)として保護者を対象に、性行動の理解と性の発達に関する講演の企画、実施。(上記、9/27・10/30・12/18)

②広報活動

2021年度は広報部会の立ち上げの年度でした。自主製品を幅広く宣伝する取り組みの一つとして、「おかし工房すずかけ」のオンラインショップ開設のための準備を行ないました。2022年度春に開設予定です。同時に「おかし工房すずかけ」のインスタグラムも開設しました。

通常の広報活動としては、一羊会だよりの発行、ホームページ上での新着の更新・新作の動画の掲載などを通して、各事業所の日々の取り組みの発信を行ないました。

③実践発表会の開催

11月29日にオンラインにより開催しました。初めての試みでしたがコロナ禍においても、外部の方々に法人の活動内容をお伝えできる一つの方法を確立することができました。

アンケートでは、各事業所の発表内容に加えて、開催方法についても一定の評価をいただきました。

広報についても、市政ニュースやホームページへの掲載、関係団体へのメールでの案内等、幅広く行いました。

④地域イベントへの参加

2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地域イベントが中止となり、限られた中ではありますが、その時々々の感染状況を鑑みて参加しました。十日戎販売に関しては、人数制限や時間短縮等の方法を講じて行いました。

⑤地域貢献

新型コロナウイルス感染症の影響により、協議の機会が十分に持てていないこともありましたが、可能な範囲で下記の各会合及び団体との連携をとるようにしています。

特に、障害・児童・高齢分野に携わる社会福祉法人が参画している西宮市社会福祉法人連絡協議会(西宮市ほっとかへんネット)においては、他市の取り組み状況を知る機会を持ち、協議会そのものの役割について検討しつつ、『防災』、『人材確保と育成』について現状を確認する為の情報交換と課題解決に向けて検討する機会を持ちました。特に防災に関しては災害・防災に関する委員会を発足し他市の事例も参考にしながら具体的な取り組みに向けて検討を始めました。また、未加入の法人も多いので加入率のアップに向けてのリーフレットの作成等の協議も行っている段階です。具体的な方策を決定するまでには至っていませんが、今後も継続して取り組んでいきます。

<参加及び連携している団体>

市内	市外
西宮市障害福祉計画策定委員会	兵庫県知的障害者施設協会
西宮市障害者施策推進懇談会	近畿地区知的障害者施設協会
西宮市社会福祉法人連絡協議会(西宮市ほっとかへんネット)	きょうされん兵庫支部
自立支援協議会運営委員会、事務局会議、各部会	兵庫県社会就労センター協議会
ジョブステーション西宮	近畿社会就労センター協議会
西宮ふれあいネットワーク	NPO法人兵庫セルフセンター
西宮市児童通所支援事業所連絡会	
西宮商工会議所	
西宮青年会議所	
西宮市社会福祉協議会	
西宮市手をつなぐ育成会	

2021年度 法人単位資金収支計算書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	127,734,400	129,390,001	- 1,655,601	
	障害福祉サービス等事業収入	1,288,541,713	1,288,562,275	- 20,562	
	経常経費寄附金収入	4,151,700	4,187,000	- 35,300	
	受取利息配当金収入	20,233	14,293	5,940	
	その他の収入	14,068,420	14,100,541	- 32,121	
	事業活動収入計(1)	1,434,516,466	1,436,254,110	- 1,737,644	
支出	人件費支出	992,842,362	982,099,404	10,742,958	
	事業費支出	140,756,853	136,700,859	4,055,994	
	事務費支出	168,929,790	165,567,820	3,361,970	
	就労支援事業費用	129,353,583	129,640,401	- 286,818	
	支払利息支出	545,849	544,613	1,236	
	その他の支出	7,168,107	7,357,904	- 189,797	
	事業活動支出計(2)	1,439,596,544	1,421,911,001	17,685,543	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	- 5,080,078	14,343,109	- 19,423,187		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	3,539,999	3,539,999	0	
	施設整備等寄附金収入	1,237,000	1,237,000	0	
	固定資産売却収入	510,000	510,000	0	
	施設整備等収入計(4)	5,286,999	5,286,999	0	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	6,072,000	6,072,000	0	
固定資産取得支出	19,034,296	18,892,661	141,635		
固定資産除却・廃棄支出	28,391,226	28,391,226	0		
ファイナンスリース債務の返済支出	4,709,024	4,708,576	448		
施設整備等支出計(5)	58,206,546	58,064,463	142,083		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	- 52,919,547	- 52,777,464	- 142,083		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	1,680,000	1,680,000	0	
	その他の活動による収入	10,342,471	10,344,621	- 2,150	
	その他の活動収入計(7)	12,022,471	12,024,621	- 2,150	
	支出				
	積立資産支出	16,731,093	18,852,676	- 2,121,583	
	その他の活動による支出	300,000	300,000	0	
その他の活動支出計(8)	17,031,093	19,152,676	- 2,121,583		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	- 5,008,622	- 7,128,055	2,119,433		
予備費支出(10)	5,700,000	-	5,700,000	注釈参照	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	- 64,208,247	- 45,562,410	- 18,645,837		
前期末支払資金残高(12)	328,490,376	328,490,376	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	264,282,129	282,927,966	- 18,645,837		

注 予備費 5,700,000 円は、その他の支出に 31,607 円、固定資産取得支出に 2,200 円、積立資産支出に 4,166,093 円、その他の活動による支出(差入保証金)に 300,000 円、計 4,500,000 円を流用

2021年度 法人単位事業活動計算書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	129,390,001	136,532,249	- 7,142,248
	障害福祉サービス等事業収益	1,288,562,275	1,284,725,497	3,836,778
	経常経費寄附金収益	4,187,000	16,743,476	- 12,556,476
	その他の収益	385,400	157,437	227,963
	サービス活動収益計(1)	1,422,524,676	1,438,158,659	- 15,633,983
	費用			
人件費	987,695,284	953,042,164	34,653,120	
事業費	137,037,819	133,999,449	3,038,370	
事務費	165,567,820	154,139,939	11,427,881	
就労支援事業費用	131,775,590	138,919,546	- 7,143,956	
減価償却費	104,635,944	69,337,369	35,298,575	
国庫補助金等特別積立金取崩額	- 46,674,650	- 32,453,739	- 14,220,911	
サービス活動費用計(2)	1,480,037,807	1,416,984,728	63,053,079	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	- 57,513,131	21,173,931	- 78,687,062	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	14,293	46,336	- 32,043
	その他のサービス活動外収益	15,781,277	23,653,032	- 7,871,755
	サービス活動外収益計(4)	15,795,570	23,699,368	- 7,903,798
	費用			
	支払利息	544,613	206,297	338,316
	その他のサービス活動外費用	9,286,966	8,029,464	1,257,502
サービス活動外費用計(5)	9,831,579	8,235,761	1,595,818	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	5,963,991	15,463,607	- 9,499,616	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	- 51,549,140	36,637,538	- 88,186,678	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	3,539,999	295,633,000	- 292,093,001
	施設整備等寄附金収益	1,237,000	9,680,000	- 8,443,000
	固定資産売却益	470,930	1,567,178	- 1,096,248
	特別収益計(8)	5,247,929	306,880,178	- 301,632,249
	費用			
	基本金組入額	0	8,000,000	- 8,000,000
固定資産売却損・処分損	31,145,922	19	31,145,903	
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	- 1	1	
国庫補助金等特別積立金積立額	2,260,000	296,963,000	- 294,703,000	
特別費用計(9)	33,405,922	304,963,018	- 271,557,096	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	- 28,157,993	1,917,160	- 30,075,153	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	- 79,707,133	38,554,698	- 118,261,831	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,069,413,411	1,050,063,713	19,349,698
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	989,706,278	1,088,618,411	- 98,912,133
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	1,680,000	28,500,000	- 26,820,000
	その他の積立金積立額(16)	7,550,000	47,705,000	- 40,155,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	983,836,278	1,069,413,411	- 85,577,133

法人単位貸借対照表

2022年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	343,483,110	732,924,165	- 389,441,055	流動負債	104,272,171	447,927,024	- 343,654,853
現金預金	112,520,816	186,335,361	- 73,814,545	事業未払金	49,857,887	397,029,620	- 347,171,733
事業未収金	204,713,055	217,987,214	- 13,274,159	その他の未払金	2,970,990	0	2,970,990
未収補助金	6,134,100	305,397,175	- 299,263,075	1年以内返済予定設備資金借入金	6,072,000	6,072,000	0
貯蔵品	7,188	0	7,188	未払費用	803,372	979,173	- 175,801
商品・製品	953,385	1,059,753	- 106,368	預り金	3,030,422	2,716,031	314,391
仕掛品	201,116	267,025	- 65,909	職員預り金	130,000	0	130,000
原材料	2,271,012	1,879,027	391,985	仮受金	0	166,200	- 166,200
立替金	607,603	374,904	232,699	賞与引当金	41,407,500	40,964,000	443,500
前払金	10,529,102	11,535,446	- 1,006,344	固定負債	266,639,272	261,411,688	5,227,584
1年内長期前払費用	336,960	336,960	0	設備資金借入金	121,309,000	127,381,000	- 6,072,000
仮払金	159,173	99,200	59,973	リース債務	11,273,924	5,598,720	5,675,204
仮払消費税等	5,049,600	7,652,100	- 2,602,500	退職給付引当金	134,056,348	128,431,968	5,624,380
固定資産	2,280,802,119	2,353,910,116	- 73,107,997	負債の部合計	370,911,443	709,338,712	- 338,427,269
基本財産	1,569,312,044	1,645,002,687	- 75,690,643	純 資 産 の 部			
土地	307,703,100	307,703,100	0	基本金	267,316,507	267,316,507	0
建物	1,261,608,944	1,337,299,587	- 75,690,643	国庫補助金等特別積立金	599,827,001	644,241,651	- 44,414,650
その他の固定資産	711,490,075	708,907,429	2,582,646	その他の積立金	402,394,000	396,524,000	5,870,000
土地	31,725	31,725	0	施設整備等積立金	249,500,000	246,500,000	3,000,000
建物	47,708,809	41,433,852	6,274,957	修繕積立金	60,900,000	59,900,000	1,000,000
構築物	63,032,520	71,670,505	- 8,637,985	備品等購入積立金	31,500,000	29,000,000	2,500,000
機械及び装置	351,950	535,992	- 184,042	工賃変動積立金	24,355,000	23,305,000	1,050,000
車輦運搬具	891,140	1,409,884	- 518,744	設備等整備積立金	36,139,000	37,819,000	- 1,680,000
器具及び備品	52,851,447	63,323,739	- 10,472,292	次期繰越活動増減差額	983,836,278	1,069,413,411	- 85,577,133
建設仮勘定	2,970,990	0	2,970,990	(うち当期活動増減差額)	- 79,707,133	38,554,698	- 118,261,831
有形リース資産	5,229,648	5,598,720	- 369,072				
権利	5,321,996	6,017,499	- 695,503	純資産の部合計	2,253,373,786	2,377,495,569	- 124,121,783
ソフトウェア	7,286,172	4	7,286,168				
退職給付引当資産	101,484,238	100,389,109	1,095,129	負債及び純資産の部合計	2,624,285,229	3,086,834,281	- 462,549,052
差入保証金	21,430,000	21,130,000	300,000				
長期前払費用	505,440	842,400	- 336,960				
施設整備等積立資産	249,500,000	246,500,000	3,000,000				
工賃変動積立資産	24,355,000	23,305,000	1,050,000				
設備等整備積立資産	36,139,000	37,819,000	- 1,680,000				
修繕積立資産	60,900,000	59,900,000	1,000,000				
備品積立資産	31,500,000	29,000,000	2,500,000				
資産の部合計	2,624,285,229	3,086,834,281	- 462,549,052				

追 悼

長崎 早百合さん

すずかけ作業所の設立当初からのメンバーである長崎早百合さんが2022年4月14日に静かに息を引き取られました。享年56歳でした。職員一同、訃報を耳にしたときは、深い悲しみに陥りました。

長崎さんはオリオン班に所属されていましたが、2013年よりサニースポット所属となりました。ここでサニースポットでの長崎さんをご紹介します。

よく童謡を聞かれ、大好きな「チューリップ」を歌ったり、笑顔も印象的で、アイスやケーキを食べて笑ったり、時には職員の靴下を脱がそうとされたり、肩にかけている職員のカバンを自分の肩にかけてみたり…作業所の駐車場を職員と歩く姿など、沢山の長崎さんとの楽しい思い出があります。そんな長崎さんから、私たち職員は本当に沢山の事を学ばせて頂きました。

空を見上げふと長崎さんに聞きたいこと、伝えたいことがたくさんあります。聞いてくれますか? 「天国でも楽しく歌っていますか?」「おいしいものを食べて笑ってますか?」「あの時、何を思っていましたか?」「長崎さんと出会えてよかったです。」

どうかどうか、これからも空からすずかけ作業所のみんなを見守っていて下さい。

「ありがとうございました。」心よりお悔やみ申し上げます。

すずかけ作業所 齊藤 啓史



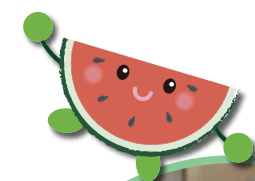
夏の風物詩

すずかけ作業所の

スイカ割り大会



7月22日にすずかけ作業所のサニースポット班でスイカ割り大会が行われました。カーム班からも利用者の皆さんが参加され、順番に巨大なスイカに挑みました。最終的に、小舟さんの見事な連打によって割れた大きなスイカは、職員によって丁寧にカットされ、作業所の皆さんに配られました。



すずかけ作業所ミシン班の**新商品紹介**



ヘッドフォンでお気に入りのラジオ番組を聴きながら縫うのが田中さんのスタイル。



今回ご紹介するのは、すずかけ作業所ミシン班の田中萌々子さんが手掛ける刺繍ブローチです。動物や植物、人物や国旗に生活用品など、様々なモチーフが取り入れられた刺繍ブローチはどれも個性豊かで愛嬌抜群。販売会でも毎回ご好評頂いていて、じわじわと人気上昇中です。是非お気に入りの一品を探してください。今後の販売情報については一羊会ホームページにてお知らせいたします。



お問い合わせはこちら → [すずかけ作業所](#) TEL.0798-23-2996

法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同)

2022年4月1日～2022年6月30日

*法人

佐々木康晴 大阪IIゾンタクラブ 塩谷健介 松枝千尋 森田順 三浦昇 中田智恵海 匿名 8件

*一羊園

匿名 吉村武代 2件

*すずかけ作業所

すずかけ作業所保護者会 長崎静 匿名 3件

*すずかけ第2作業所

匿名 1件

*武庫川すずかけ作業所

平野弘子(3件) 中谷美津子・林泰子(連名) 塩口正之 中谷幸子 6件

*ジョイント

吉川治子 長崎静 2件



2022年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2022年4月1日～2022年7月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部

大関エステート(株) (株)ケージークレセント(2口) (株)創功エンジニアリング 大喜建設(株)
 西宮市民踊協会 (株)前中地所 三日月建設(株) (株)メックテクニカ
 社会保険労務士法人溝口社会保険労務士事務所 9件

*個人の部

伊藤節子 井上尚子 岩本健熙 大川裕紀 大目修平 大山美紀子 岡克明
 小川加代子 小川猛 奥嶋育子 唐沢文子 川上隆弘 北川泰寿 北村典子(2口)
 クゲエリカ 久保廣高 車田光子 近藤直哉 笹川利彦(2口) 佐々木康晴 四方勝
 柴田美子 篠原正寛 久保田晴子 善塔勝一郎 副島宏克 高谷知子 高野重子
 田中京子 田中美英子(2口) 谷田松子 谷矢吉夫 中川寛子 中田祥貴 中村絢子
 西田智子 橋本真理 長谷川幸 長谷隆行 早川典江 日高昭夫 福田百合子
 堀江史子 本田洋子 松枝千尋 宮脇葉子 森野和雄 山口苑 山口有香
 山本加津美 吉田幾久世 吉野千栄子 すずかけ作業所保護者会(46口) すずかけ第2作業所保護者会(47口)
 武庫川すずかけ作業所保護者会(55口) 上甲子園すずかけ作業所保護者会(15口) 56件

2022年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2022年4月1日～2022年7月31日のご入金分を掲載)

*法人・団体の部

(株)創功エンジニアリング 社会保険労務士法人溝口社会保険労務士事務所 2件

*個人の部

大目修平 小川加代子 唐沢文子 川上隆弘 北村典子 久保田晴子 小林義典
 善塔勝一郎 高谷知子 谷矢吉夫 中川寛子 橋本真理 長谷隆行 早川典江
 本田洋子 宮崎龍雄 森野和雄 山口苑 山本加津美 横山潤・正代 吉田幾久世 21件

口座名義 一羊会後援会

【銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061

【郵便振替口座】01190-8-66322

※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。
 別途受領証が必要な場合はお知らせください。

お知らせ

後援会総会の開催遅延のため、事業報告や決算・予算については次号に掲載いたします。何卒ご了承くださいませようお願いします。

募金箱を設置いただいているお取引関係(順不同) ※2022年8月現在

(株)GEOソリューションズ (一社)西宮青年会議所
 甲南防災設備(株) (株)パソナ
 (株)ビー・プランニング (株)ケージークレセント
 (税)丸岡&パートナーズ あさひパートナーズ法律事務所
 広川内科クリニック (株)トヨタレンタリース神戸
 (一社)西宮市手をつなぐ育成会

ご協力いただきありがとうございます。加えて法人内事業所9ヶ所に設置しています。

Boleh!

Boleh(ボレ)はマレーシア語で「できる」を意味します。

このページでは地域共生をテーマとし、一羊会と地域の皆様方との繋がりをお伝えしていきます。

NHK Eテレで放送中の『no art, no life』に武庫川すずかけ作業所、あとりえすずかけ所属の富塚純光さんが出演することになりました。2日間の撮影工程の中で、初日にはあとりえすずかけで富塚さんが絵を描く姿を撮影。2日目には富塚さんが描いた絵の中に登場した甲山周辺の風景を撮影クルーの皆さんと一緒に巡りました。放送予定日は以下の通りです。是非ご覧ください♪



本放送

NHK Eテレ 2022年9月9日(金) 23:45~(5分)

再放送

NHK Eテレ 2022年9月11日(日) 08:55~(5分)

6月に兵庫県立今津高等学校で開催された文化祭の会場で、すずかけクッキーを販売させて頂きました。時には行列ができるほど、多くの生徒さんや保護者の皆さん、先生方にお菓子をお買い求めいただきました。

販売会をサポートしてくれたのは、今津高等学校でボランティア活動をされている『ING部』の学生さん達です。『ING部』とは、今津・ノーマライゼーション・グループの略称とのこと。



以前より、一羊会の利用者の皆さんと一緒に避難訓練を行ってくれたり、レクリエーションの時間を共にしたりと交流を続けてきています。最近では、ウクライナへの支援金を募る街頭募金活動を行ったそうです。

販売会では、売り場の設営や商品の陳列、看板を持つての呼び込みなど、たくさんのサポートをしてくださいました。『ING部』の皆さんありがとうございました。これからもよろしく願います。

